

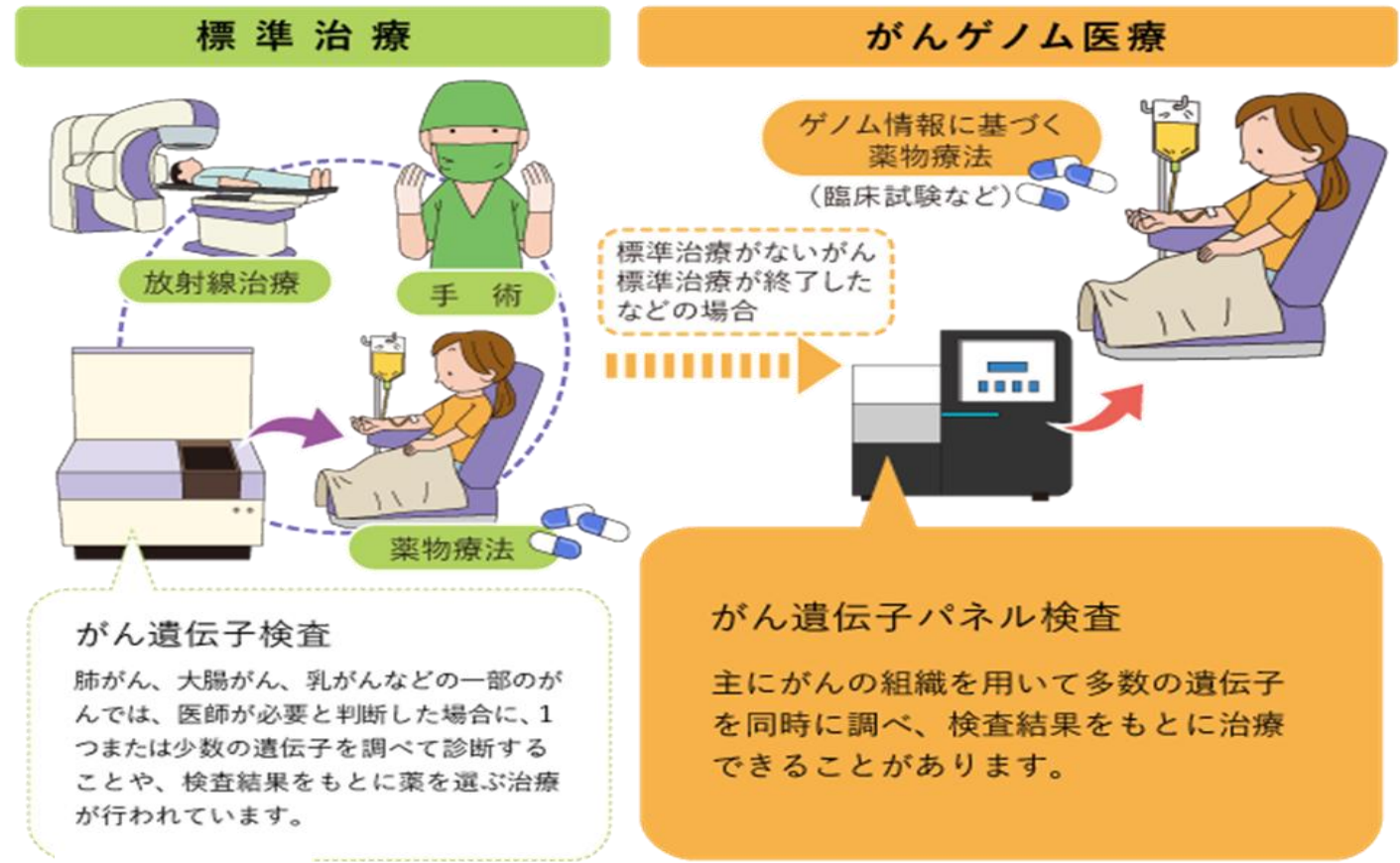
『ゲノム医療』ってなに？

がんゲノム医療とは、遺伝子情報に基づくがんの個別化治療のひとつです。一部の治療では、すでに標準治療としてがんの組織などを用いて1つまたはいくつかの遺伝子を調べる「がん遺伝子検査」を行い、遺伝子の変化に対応した薬の選択が行われています。

メモ 標準治療とは？ 科学的に効果があると確認されている最も基本的で信頼性の高い治療法（保険診療）のことです。先進医療の方が最先端ということではなく、また標準治療が、並み（普通）の治療ということではありません。

遺伝子パネル検査って？

「がんゲノム医療」として**多数の遺伝子を同時に調べる検査**で、標準治療がない場合や、原発不明がんなどは保険診療で検査できるようになりました。（鹿大病院や鹿児島市立病院等）ただし、遺伝子パネル検査で遺伝子変異が見つかって、自分に合う薬を使用できる人は、全体の約10～20%と言われています。



引用：がん情報サービス

→詳細はこちら 国立がん研究センターがんゲノム管理センター

いまきいれ総合病院がん相談支援センター